



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 ソレキア株式会社
 コード番号 9867 URL <http://www.solekia.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,790	1.7	1		13		120	
29年3月期第3四半期	13,559	4.5	193		190		158	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 175百万円 (%) 29年3月期第3四半期 148百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	139.11	
29年3月期第3四半期	183.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	12,033	5,847	48.6
29年3月期	12,614	5,727	45.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,847百万円 29年3月期 5,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				50.00	50.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	5.6	280	8.1	290	11.5	280	97.9	322.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	1,016,961 株	29年3月期	1,016,961 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	152,139 株	29年3月期	149,679 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	865,235 株	29年3月期3Q	868,079 株
----------	-----------	----------	-----------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1) 四半期連結貸借対照表	3
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
	(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安定した円安・株高傾向のなか、輸出の増加や設備投資の持ち直しなど堅調な内外需要に支えられ企業業績は増勢を維持し、雇用環境の改善と底堅いインバウンド需要により消費も回復基調で推移するなど、緩やかな回復傾向が続きました。

企業のICT投資につきましては、IT基盤の整備・充実など戦略投資への意欲やクラウド化に伴うデータセンター需要の高まりを受け、世界のIT需要が好調に推移すると共に、IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、ビッグデータ、ロボティクス、車載関連などのデジタル化の進展が期待されておりますが、足元では人手不足を背景とした合理化、省力化投資への志向が強く、本格的な需要拡大には至っておりません。

このような経営環境のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は、電子デバイスはユーザーの生産調整による需要減や生産終息により減少しましたが、情報通信機器は底堅く推移し、システム開発案件の受注やフィールドサービスの売上は増加し、137億90百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

損益面につきましては、システムエンジニアやフィールドサービスの稼働が向上したことにより営業利益は1百万円（前年同期は1億93百万円の営業損失）、経常利益は13百万円（前年同期は1億90百万円の経常損失）となり、投資有価証券売却益（特別利益）の計上もあり親会社株主に帰属する四半期純利益は1億20百万円（前年同期は1億58百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、システム開発案件やフィールドサービスの受注が増大しましたが、情報通信機器は前期に大口システムの更新需要により増加したことへの反動により減少となり、電子デバイスもユーザーの生産終息などのために減少し、売上高は78億42百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

損益面につきましては、フィールドサービスの原価低減とシステム部門の稼働改善により、営業損失は55百万円（前年同期は76百万円の営業損失）となりました。

「東日本」は、自治体・公共向け情報通信機器の売上が増加し、システム開発案件やフィールドサービスの受注が好調に推移し、売上高は31億84百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

損益面につきましては、フィールドサービスとシステム部門の稼働向上と売上増加により、営業利益は1億27百万円（前年同期比165.1%増）となりました。

「西日本」は、電子デバイスがユーザーの生産調整により減少となった一方、公共および民間向けのシステム開発の売上が増加するとともに、情報通信機器が底堅い更新需要に支えられて、売上高は26億66百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

損益面につきましては、システム部門の稼働向上と販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は99百万円（前年同期は11百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5億80百万円減少し、120億33百万円となりました。この主な要因は、商品が5億97百万円、仕掛品が1億41百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が15億67百万円減少するなど、流動資産が5億91百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、6億99百万円減少し、61億86百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が3億80百万円、賞与引当金が2億41百万円減少するなど、流動負債が5億98百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億19百万円増加し、58億47百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が76百万円、その他有価証券評価差額金が59百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年6月29日の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上及びこれに伴う業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成30年3月期の通期連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,501,093	3,592,962
受取手形及び売掛金	5,351,901	3,784,327
電子記録債権	150,485	247,069
商品	910,277	1,508,025
仕掛品	81,032	222,771
その他	228,001	275,076
貸倒引当金	△1,952	△981
流動資産合計	10,220,838	9,629,252
固定資産		
有形固定資産	1,098,108	1,102,055
無形固定資産	86,386	66,915
投資その他の資産		
投資有価証券	317,745	391,520
敷金及び保証金	453,437	452,448
繰延税金資産	377,521	333,352
その他	66,757	64,888
貸倒引当金	△6,646	△6,639
投資その他の資産合計	1,208,814	1,235,571
固定資産合計	2,393,310	2,404,542
資産合計	12,614,148	12,033,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,122,461	2,741,844
短期借入金	1,114,142	1,114,750
1年内返済予定の長期借入金	—	50,000
未払法人税等	150,556	16,051
賞与引当金	366,500	125,100
その他	623,733	730,813
流動負債合計	5,377,394	4,778,559
固定負債		
長期借入金	50,000	—
役員退職慰労引当金	89,246	89,246
退職給付に係る負債	1,304,235	1,252,466
資産除去債務	65,298	65,965
固定負債合計	1,508,781	1,407,678
負債合計	6,886,175	6,186,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,629	2,359,629
利益剰余金	1,252,846	1,329,842
自己株式	△252,353	△265,176
株主資本合計	5,653,129	5,717,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,492	157,597
為替換算調整勘定	△23,648	△27,344
その他の包括利益累計額合計	74,844	130,252
純資産合計	5,727,973	5,847,555
負債純資産合計	12,614,148	12,033,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,559,212	13,790,558
売上原価	11,367,248	11,384,716
売上総利益	2,191,964	2,405,842
販売費及び一般管理費	2,385,754	2,404,238
営業利益又は営業損失(△)	△193,790	1,603
営業外収益		
受取配当金	10,156	7,438
その他	11,065	11,148
営業外収益合計	21,222	18,587
営業外費用		
支払利息	5,277	5,703
為替差損	11,694	-
その他	1,063	1,193
営業外費用合計	18,035	6,897
経常利益又は経常損失(△)	△190,604	13,294
特別利益		
投資有価証券売却益	10,530	175,702
特別利益合計	10,530	175,702
特別損失		
投資有価証券評価損	989	-
特別損失合計	989	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△181,063	188,996
法人税、住民税及び事業税	21,584	25,270
法人税等調整額	△43,662	43,365
法人税等合計	△22,077	68,635
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△158,985	120,360
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△158,985	120,360

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△158,985	120,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,555	59,105
為替換算調整勘定	△19,813	△3,696
その他の包括利益合計	10,741	55,408
四半期包括利益	△148,243	175,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148,243	175,768

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,970,961	2,883,314	2,595,054	13,449,331	109,881	13,559,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,133	—	1,027	8,160	263,419	271,580
計	7,978,094	2,883,314	2,596,082	13,457,491	373,301	13,830,793
セグメント利益又は損失(△)	△76,920	48,251	△11,259	△39,927	△18,202	△58,130

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△39,927
「その他」の区分の利益	△18,202
セグメント間取引消去	334
全社費用(注)	△135,993
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△193,790

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,842,149	3,184,219	2,666,230	13,692,599	97,959	13,790,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,910	—	977	34,888	210,477	245,366
計	7,876,059	3,184,219	2,667,208	13,727,487	308,437	14,035,924
セグメント利益又は損失(△)	△55,550	127,934	99,936	172,320	△13,354	158,966

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	172,320
「その他」の区分の利益	△13,354
セグメント間取引消去	△414
全社費用(注)	△156,947
四半期連結損益計算書の営業利益	1,603

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。